

この制度の周知と定着を図りたい。対象年齢の拡大は考えていない。②さまざまな方法で、幅広い区民意見の反映に努める。③11月11日に東京都福祉局と共同で開催予定である。養育家庭の普及・啓発とともに、子育て体験を聞く会としても周知したい。

NPO支援で協働の推進を

区民との協働の視点に立ち、新しい公共の担い手となるNPOや自主団体との協力関係の強化が望まれる。①「NPO支援室」など区民にも分かりやすい専管組織を作ってはどうか。②NPO自らが運営するNPO支援センターを設置しては。③協働の指針はいつまでに策定するのか。④協働を推進するための全体計画を作ってはどうか。⑤事業の



障害者福祉(ニコニコ)事業団

ニコニコ事業団の法人化を

区内民間事業者の中には、障害者福祉(ニコニコ)事業団と連携して障害者の就労を図る動きがある。障害者の就労支援のためにも、事業団が第一種の社会福祉法人となるよう支援すべきではないか。

区長 事業団の自立した運営のためにも、法人化に向け支援する。第一種は施設経営なのでニコニコ事業団の場合は第二種となる。

区民健診有料化を見直せ

日本共産党議員団 **かせ 次郎**

今年4月にがん検診が有料化され、5月から7月の受診率では無料の成人健診が約9%増加したのに対し、有料化



区民対象のがん検診

議も経ずに学校選択制を導入すれば、地域で育む教育、中野の教育の伝統を失いかねない。先に学校選択制ありきといった進め方はするべきではないと考えるが、教育長の見解は。

中止などで、受診対象者が増加したことが考えられる。区はがん検診有料化の結果について、何の検証もせずに区民健診の有料化を進めようとしているが、有料化の計画は見直すべきではないか。

青年の雇用対策を実施せよ

フリーターの増加は企業側の要因が大きく、企業内の教育訓練も無く転々と仕事が変わるフリーターの増加は、日本経済の成長を阻害する恐れがある。長期的には日本全体の生産性にも、また、若者の収入が安定しないことから結婚や出産にも影響し、少子化問題や社会保障の問題にまで悪い影響を与えかねない。日本社会の存続にかかわる問題である。区として実効性のある青年の就労支援に取り組むべきではないか。

区長 胃がん検診の受診者数は減少したが、肺がん、乳がんなどの検診は増加した。受診者に一定の自己負担を求めるとはやむを得ないと考えており、成人健診などへの自己負担導入は実施したい。

学校選択制について

学校選択制導入区では進学イメージのある学校や施設の充実した学校に生徒が集中し、小規模校や荒れうわさがあつた学校は避けられている。集中した小・中学校では特別教室を普通教室に転用したりクラスの数が増えるといった問題が起きている。十分な研究や検討をせず、区民論

区長 就業情報の提供や仕事をすることについて、この就業教育など、側面的な支援を中心に行っていく。また、中長期的には地場産業の育成を図っていく。

緊急課題にはトータルシステムによる取り組みを

TOKYO自民党中野区議員 **伊東 しんじ**

基本構想や「仮称新しい中野をつくる10か年計画」の



新井薬師前駅付近の放置自転車

策定に取り組み、また、さまざまな位置付けの計画や指針もあるが、緊急課題には、トータルシステムによる早急な取り組みが必要である。①区長の姿勢と区民への公表は。②少子化による急激な学校の小規模化への対応としての学校再編についての考えは。

区長 ①重点目標を整理しながら、緊急課題は先送りすることなく、取り組んでいきたい。また、経営改革全体の考え方は、何らかの形で区民に示していきたい。

教育長 ②学校再編は速やかに取り組むべき教育行政上の課題と考えており、基本構想の改定作業を待たず、区民に考え方を示せるよう努めていきたい。

まちづくりには区民感覚を有する専門家を

区長 社会復帰の受け皿は、充分と言える状況にない。国や都の動向を見ながら、グループホームなどのあり方を検討していきたい。

学校教育の充実

武蔵野市が行う「セカンド

区長 地域で配備場所を決めたということになれば、支援していくのが区の役割と認識している。

区長 特色ある教育活動のひとつと認識する。「隣の芝は青く見える」ことも含め議論することは重要である。

人命救助用資機材をきめ細かく配備せよ

区長は「阪神大震災で死亡した人の9割以上は家屋の倒壊が原因で、ほぼ5分以内に亡くなっている」と、建物倒壊の危険性を述べている。しかし、災害時の倒壊した建物から救助する資機材は、防災会ごとに1カ所しか備えられておらず、これでは5分以内の救助には間に合わない。配置場所は防災会を中心に検討していると言いが、地域が倉庫の増設を決めた場合、区は資機材を装備するのかが、

区長 地域で配備場所を決めたということになれば、支援していくのが区の役割と認識している。

区長 ①情報提供や地域の将来像、まちづくりの目標などを提案するとともに、職員や専門家地域に派遣するなど地域まちづくり支援を積極的に効果的に進めていきたい。②地域で継続的にまちづくりについて話し合えるよう、地域住民や関係者の組織づくりを支援し、地域住民の提案をき

ちんと受け止めるなど、地域まちづくり支援を充実していきたい。

自転車駐車場整備に向け民間事業者の活用を

中野区自転車等駐車対策協議会は「民間事業者の自転車駐車場経営への参入を図るため、区との連携による整備・運営や運営ノウハウの提供等の支援を行う」と答申した。

これを受け、新井薬師前駅、新中野駅の自転車駐車場整備に向け、どのような事業展開を目指すのか。

区長 新井薬師前駅では民間駐車場経営者から民間駐車の設置・運営への協力依頼を受けており、区として検討している。また、新中野駅については、民間自転車駐車場を含め、あらゆる可能性を追求していきたい。

効な手法と考える。是非、取り入れるべきと思うが、区長の認識と見解は。

区長 特色ある教育活動のひとつと認識する。「隣の芝は青く見える」ことも含め議論することは重要である。

人命救助用資機材をきめ細かく配備せよ

区長は「阪神大震災で死亡した人の9割以上は家屋の倒壊が原因で、ほぼ5分以内に亡くなっている」と、建物倒壊の危険性を述べている。しかし、災害時の倒壊した建物から救助する資機材は、防災会ごとに1カ所しか備えられておらず、これでは5分以内の救助には間に合わない。配置場所は防災会を中心に検討していると言いが、地域が倉庫の増設を決めた場合、区は資機材を装備するのかが、



防災資材倉庫

武蔵野市が行う「セカンド

区長 地域で配備場所を決めたということになれば、支援していくのが区の役割と認識している。